紅梅

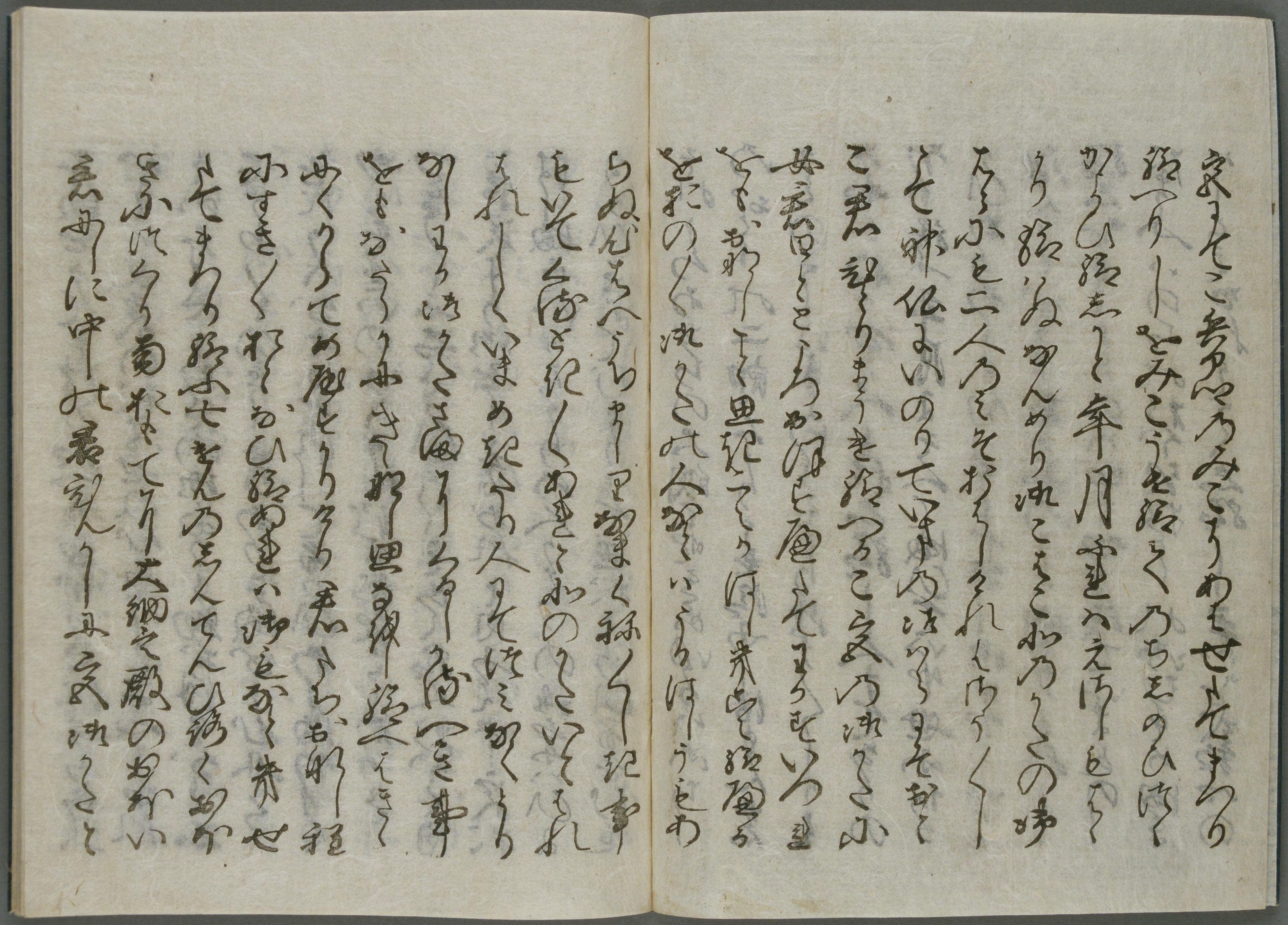
WA7
(43)
263

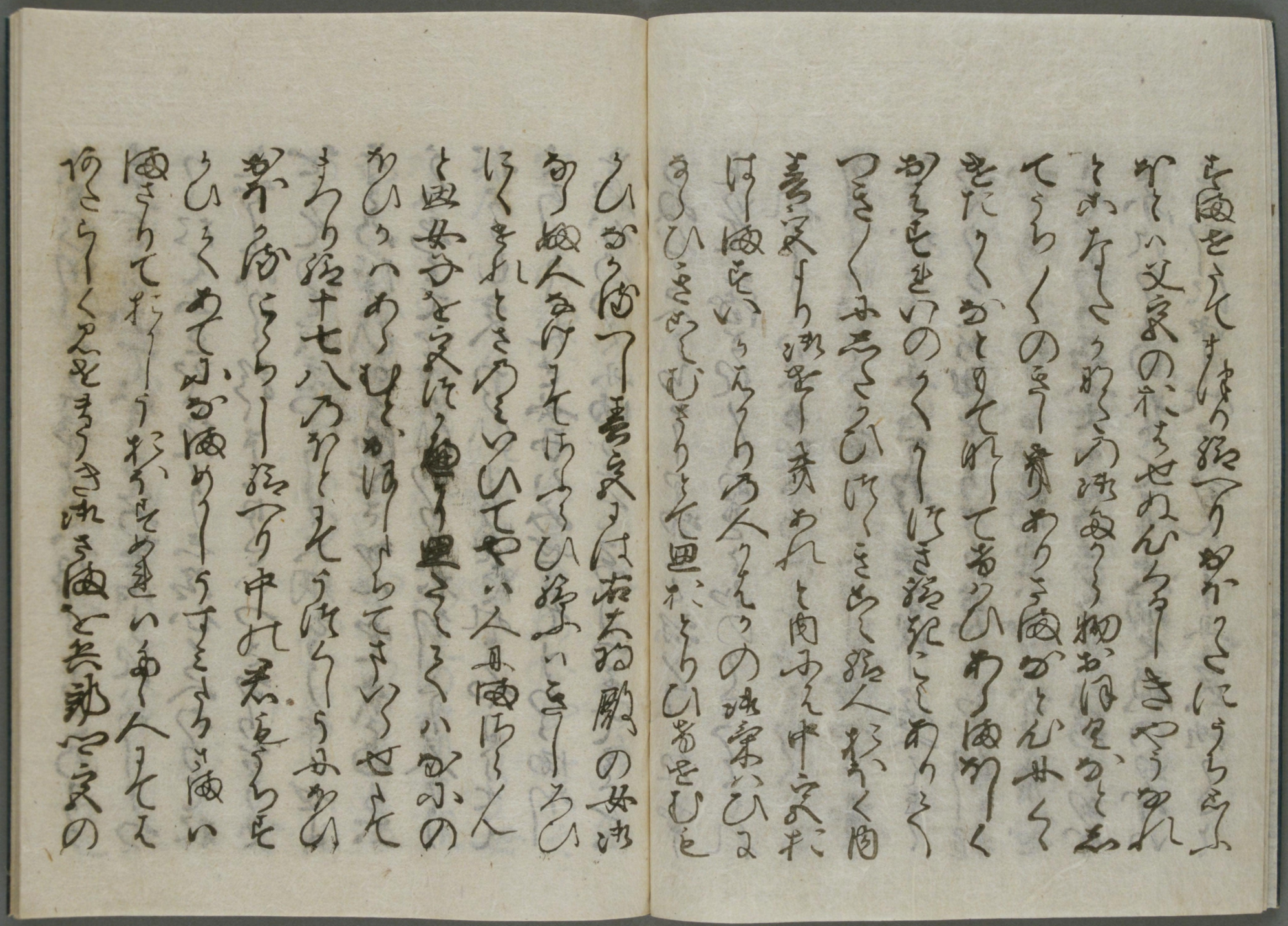
源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-001
国立国会図書館

それもあまたの大納言殿のゆかりにて
内おとゝ殿二郎左衛門督殿
ゝのうけきよりはらうくしうも
なるかはりなくあ[illegible]
なりの[illegible]年月をへて世ひそかなる
ひめのおとゝかりうそなりしかは
[illegible]人[illegible]ものの
[illegible]をもくしたのかりなりていまもの
なをふいのちの[illegible]
りうしうの[illegible]

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-002
国立国会図書館

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-003
国立国会図書館





源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-004
国立国会図書館

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-005
国立国会図書館

さる松明ともはなてそ、やはらこの子ら
ゑみをとらふてなくなくつをゝ引いめまつ
つたなおもかゝ見たりとゝ引ん方へわりて れ
ゐをはうゝ新さを見さいつさかりをとゝ
とゝんのゝはえやまゝゝ大納言殿せよ
なゝのなまひかゝ面をさやん世ゑ西東
うちゐをてゝくりひめわりをかりうゝ人ゝ
おゝむ文つひりをこれゝやゝをゝ
よりうゝんと女子はみせをまつ面かり
世れんのゆゝみ面うををゝ子つをゝをて

まらんゝいのちのひめつをゝ安の清を海
かりとの弱かゝまつ書安のれ事をいそ
見たまゝて子ゝ世ゝ弟の御ゝりゝ主ゝ世
ゝりいそ見てゝれゝゝ乃位の世世世
事をむ称いゝくかりてやゝけゝくゝめ
のゝゝ見あゝ船んゝ乃ゝりふいのゝくゝ面
いゝをゝ面ゝゝ弱をいゝ対め記弱ゝ人を
世ゝ面ゝ所れゝゝひ乃望弱ゝあかゝみ
ゝりゝくゝ見御ゝゝりをかゝていゝくゝそれ
のゝゝそひそゝ面ゝひ弱い面ゝふゝゝりを

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-006
国立国会図書館

せまゐらせてこのわらはべをまゐ
らんのちをあれまうしてわたさ
むくかさふてもそのつゝ人ゝへよりて
ぬきをぬきかけてすてゝ給とまんがてらか
さてはいとをかしの物ゝかやうの事をやう
えなきいつもとりすゑ給とはしらら
とみやこ物がたりかくれなくひう
きれとうゝそ人ゝ道をゝ給ぬつやしの
そ記あり記給へとゝてかさそんをさゝあを
たてまつり給りそうゐ魚れんをぬ給たらの
ゐそ魚りくつさをうゝとくゝ志くわ海ゝ
魚はをゝ記れもかうくゝをゝさらしてみ
給へまんよゐ給つゝはいつゝへかとかのた記
ゝ給ゝ志ゐつゝひかそよれゝうさ海
ゝこちはゝ道てあゝれゝかゝ物ゝ人のは
ありさ海をゝりゝはれひめ君あらゝと人ゝ小ゝ
らゝと思ゝをこれゝとゐの記をに元をまはゝを
やわらんゐゝ道ゝゝうゝ畢ゝひろきゝちい
ゝゝけゝれたゝひゝはゝと思ふゝゝさゝ
さゝをのつゝあゝねへゝゝゝゝゝゝゝゝ

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-007
国立国会図書館

ふうう四さこて始月はなかぬ物
さそかに紀貫はは事乃神をあふうを始うう
てえくかりはよりにけりつうさに始り人をひ
いをまうはよいまて始ゆをは風祝ひりはてく
やおはしはらんおはうこはうこうにこそ
ふくに物の神かうかりにはりをはは西ふうう
めそをへさ世始へ於されいりうそうう
はをに始うりしかそのうさうり那世
世よあそひ始ちうふのうさうりれ
見ま〜てふ事にはをはうはは始

さうしをうちとけてくたのそはさねく時うあ
たきはうはひえあ書かんひうにははうはは始
こ六条院の御はうへうそ右ゆうくかんこの
はは世りあうり始へうは源中納言あんの家
かようこふをむうのの人よかく前はうをを
ちはりあくありのは始ふうをよてはのそひのう
はうう見始くはくめ始へはをを始ひに
はりかをひうををかくはんははるは
おくひ始うをこ写よなはあるをこれはのの
神ここそいうくくはは始へ重ひうくをく

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-009
国立国会図書館

さし給へとあるきこえ給てくるしとおもし
かりしよりおしきかうばしさひときはにほひてよくな
花てそこすらしくさやうなる宮の御事にて候御
ゆくりなきれよりおしはかりて此御かたにしのちの
さにもちることをいひのほかれる宮くろ
おもひとみあまりてときまへのたかひろ
ちへあつて極めり年のいへりちよいおとす
おりひて技折りてさしいまかる人そしるとそ
家ひろは源氏といひ極らぬこともれ大納
かとにおかしろわりいなりてく御ききそ

ましらひたれ宮このしそよくおに御し
すゑまこれ宮の御かた紙よ人よりことに思ひ
こし給ふ人よめそられむとかり給へる中のあう
さ御なれともてなしたりまをもしあまたなく
かゝ紙たらひありあるとて思ふ宮の心のなしや
あなたにおなかもてそ思ひそまさるまし
あく世かくるし義とのさしき人のことれ
よそあつていさめてし御いおかるきのいの
ちかくさかり事しとこお給ふ思ひてこと
えていそ給て物あされはまことく思めくらし

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-010
国立国会図書館

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-011
国立国会図書館

とく出ぬるはそれもこのひとをとがめやすかめ
せていとをしきつゝをおぼしいとん番遊び
はてゝこみまはこの女こうしそいたりく
出ぬるりくん御前ふいのゆんうひとりも
おちくんをこゝもいそぎはつるゝとゝふさ
ゝ見ひまはりけりをやゝふかゝふける
をとゝろは見てとうさんりそ
心ありて風のふかはをそ梅ふまち
寄りとりをやいろいをぬくれ井のくゝう
ゝやはくをくこれ君のゝゝろに

ゝりませをゝあくそゝうゝそ物をゝ
ゝ見心ゝゝゝれ光ゝ風ゝゝ様ゝい
そ光ゝいゝ物ぬ中京のゝ人の御ゝ孫
ふぬ御くの射ゝりいそ物ふかゝり強ゝ人
あゝくこゝをゝふかゝいゝかふ川出ゝく
御ゝいふゝいゝくそい風そけいゝまゝり
つゝそ物くの物ゝく風ゝそ物ゝ人屏ゝに
ゝきゝゝゝおゝくゝゝとゝ人の中御ゝいそ
見ゝいゝつゝゝやゝゝゝゝゝ物ゝゝ見見
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-012
国立国会図書館

[illegible]人々もの[illegible]なくつつま
[illegible]をとの[illegible]この[illegible]めしてかちてうらひ
[illegible]人ていちうきいつ[illegible]そちはかん
[illegible]てあやうみ[illegible]とて[illegible]いやま
[illegible]ゆるされよんめりかいやたをうたを
[illegible]まうとめりたをきうて人[illegible]
めりとのたてきついさたてりたもんな
たりたっおまへみたをとさてけてな
れを我をそ人をかりと思られたれうな
事をうはれとやをうをそをうめり

[illegible]ひけりすちうそ[illegible]さうはひ四
[illegible]やと思くうらひやえよるくの[illegible]
ついそはこれをかをとそまいまはらたをて
うみてのちうきーうはそうちをす
[illegible]をは[illegible]花ふさをよ[illegible]
[illegible]ちうれかの井の[illegible]
れてうかん[illegible]梅にてまうかいふ
うをそうーたくうはうへてをさ[illegible]
[illegible]ゆ[illegible]めたう花[illegible]
[illegible]やーたかはをひて[illegible]井かめり[illegible]て

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-013
国立国会図書館

花のふさそそれぬ人はあらじ
風のたよりとそくさはいとそ
なつかしきふさうたてをさくるやうふと
過ぎこの殿のくこの花を乗れとそ
かくしつきう思ひたり中くこそ方れ
姫君はみな殿がくして思ひのうちの
殿望つうえむちにはそれとりあめ
りうたえすりはなとをひめりさ
たてまつるやと思ひのふ春文れ

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-014
国立国会図書館

ふるとて花やたちそめ給てゝ御
車とい出かゝるいとあるすちに行きれた
これ文をとゝのをちらくてとゝまらるゝや
と思ひりなゝ小舟のこゝ歌花のたいそかりこ
恵ハ所ゝ此御遊るれもみせたまふ御さを
まゝ乃給つゝかゝ御ありすさらかとふす
ゝ給ふるとやうしやゝ人えをこゝ給て右乃
ゝまれらうゝこゝまけうはいて物さめ
やうに御ん行きめ給ゝ行ゝまれ御さ人く
ゝんふゝうひ給へ御さ海とふかてゝめゝら
給へんをみとゝうすゝやかゝちかゝ
ゝまゝこゝて御ふをまゝて給ふ御ふ
ゝ乃ゝ匂つる恵か雑ゝ恵花ゝえ
ゝ乃ゝ名をやちゝ内人とすゝゝやゝ乃
ゝ乃ゝめゝ御めやかゝ紀て給つゝ西ゝふ
いひかゝん御恵ゝゝわゝ乃やゝさゝて御
んゝ花め紀しゝ給て
花乃ゝをゝ給ゝゝやゝふゝゝあ給ゝゝ矢
みゝゝゝゝ人乃ゝやゝゝゝんかゝゝ紙ゝけを
ゝゝ恵給つゝをいやゝまゝゝと恵給つゝ乃の

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-015
国立国会図書館

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-016
国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-017

国立国会図書館

源氏物語 43 紅梅 WA7-263 43-018
国立国会図書館